

- 問1 日本の諸都市の気象統計において、1月の平均気温が約5度、8月の平均気温が約28度と夏冬の寒暖差があり、降水量は梅雨の時期と秋にピークが見られるものの、冬の降水量は年間でも最少ない水準となる都市はどこですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 大阪市
 2. 札幌市
 3. 新潟市
 4. 鹿児島市
- 問2 神戸市の開発において、全長約14.5キロメートルに及びベルトコンベヤなどを用いて六甲山地の土砂を海へと運び、大規模な都市機能を備えた陸地を確保した事例として、最も適切な名称はどれですか。 (2026年 神奈川公立入試 類似)
1. ポートアイランド
 2. 淡路島
 3. 小豆島
 4. 直島
- 問3 戦国時代、織田信長が現在の滋賀県にある琵琶湖東岸に安土城を築いた理由として、当時の交通や地理的条件から考えられる背景として最も適切なものはどれですか。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
1. 琵琶湖を利用した水上交通と、北陸や東海から京都へつながる陸上交通の要所を支配するため。
 2. 内陸県特有の険しい山岳地帯を利用して、周辺諸国からの武力侵攻を完全に遮断するため。
 3. 四方を山に囲まれた盆地特有の気候を活かし、鉄砲の原料となる硝石を効率よく生産するため。
 4. 海に面していないことを利用し、当時対立していた瀬戸内海を拠点とする海軍の攻撃を避けるため。
- 問4 近畿地方の略地図において滋賀県の中央部に位置する、日本で最大の面積を持つ湖について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 琵琶湖と呼ばれ、近畿地方に住む人々の飲料水の供給などを担っている。
 2. 霞ヶ浦と呼ばれ、大規模な干拓事業によって周辺の農地開発が進められた。
 3. 浜名湖と呼ばれ、周囲では温暖な気候を利用したミカンの栽培が盛んである。
 4. 中海と呼ばれ、島根県と鳥取県にまたがる汽水湖として知られている。
- 問5 京都市では、歴史的な町並みや文化財を守るために、建物の高さや意匠（デザイン）を制限する独自の取り組みが行われています。このような都市計画上の規制を設ける最大の目的として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡公立入試 類似)
1. 再開発を促進し、容積率を緩和することで高層ビルの建設を増やすため
 2. 伝統的な建築物と周囲の環境を調和させ、景観の保存を図るため
 3. 工業地帯を拡大し、近代的な工場を市街地の中心部に誘致するため
 4. 建物の建設コストを削減し、新しい住宅を短期間で大量に供給するため
- 問6 京阪神大都市圏において、滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖が、都市の維持において重要な役割を果たしている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 徳島公立入試 類似)
1. 琵琶湖から流出する淀川の水系が、京都・大阪・神戸などの大都市における膨大な人口の生活や産業を支える水源となっているため。
 2. 琵琶湖の水深が非常に深いため、海外から大型のタンカーが直接大阪や神戸の港へ入港するための主要な航路として利用されているため。
 3. 琵琶湖周辺で採掘される豊富な石炭や鉄鉱石が、阪神工業地帯におけるエネルギー源や原料として古くから活用されてきたため。
 4. 琵琶湖の広大な水面がヒートアイランド現象を抑制し、京都市内や大阪市内の夏場の気温を大幅に下げているため。
- 問7 近畿地方における人口の流動について、滋賀県や奈良県から京都府や大阪府へ多くの人々が通勤・通学している要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. 鉄道網や高速道路の整備が進み、大都市圏のベッドタウンとして住宅地の開発が行われたため。
 2. 滋賀県や奈良県に大規模な重化学工業地帯が形成され、京都府から多くの労働者が流入したため。
 3. 京都市や大阪市などの都市部で地価が急激に下落し、周辺県からの通勤者が減少したため。
 4. 近畿地方の各府県間での移動を制限していた関所などの制度が、近年になって廃止されたため。
- 問8 温州みかんの生産量で全国1位の和歌山県や、それに続く愛媛県、静岡県といった地域に共通する、みかんの栽培に適した自然条件や地形の工夫として最も適切なものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している
 2. 冷涼な気候を好み、昼夜の温度差が激しい標高の高い火山灰土の高原を利用している
 3. 稲作が困難なほど降水量が少ないため、灌漑設備を整えた広大な平野を利用している
 4. 冬の寒さが厳しく、病害虫の発生を抑えられる降雪量の多い地域を利用している
- 問9 日本の総人口に占める三大都市圏の人口割合を比較した際、東京大都市圏に次いで2番目に高い割合（約14.4%）を示し、大阪市、神戸市、京都市などの政令指定都市を含む都市圏の名称として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 大阪大都市圏
 2. 東京大都市圏
 3. 名古屋大都市圏
 4. 北九州大都市圏
- 問10 日本の七地方区分において近畿地方に分類される県のうち、中部地方に属する県と陸上で直接境界を接している県の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2017年 山形公立入試 類似)
1. 三重県と滋賀県
 2. 和歌山県と奈良県
 3. 兵庫県と大阪府
 4. 京都府と福井県
- 問11 日本の地方区分において、近畿地方に属する三重県と、中部地方に属する愛知県の地理的な関係について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 三重県と愛知県は、伊勢湾を挟むとともに、陸上でも境界を接している。
 2. 三重県と愛知県の間には静岡県が位置しており、両県は境界を接していない。
 3. 三重県と愛知県の境界には飛騨山脈が位置し、陸路での移動は困難である。
 4. 三重県と愛知県は、ともに近畿地方に属しており、古くから同じ行政区画であった。
- 問12 京都、大阪、神戸の三つの大都市を中心に形成されている広大な都市圏において、日本最大の湖である琵琶湖を水源とする水系によって、膨大な人口の生活が支えられています。この都市圏の名称と、関係の深い水系の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 徳島公立入試 類似)
1. 京阪神大都市圏と淀川水系
 2. 京浜大都市圏と利根川水系
 3. 中京大都市圏と木曾三川水系
 4. 阪神大都市圏と信濃川水系
- 問13 近畿地方の滋賀県と奈良県について、1998年から2018年の20年間における人口動態を比較したとき、滋賀県に見られる特徴として最も適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀公立入試 類似)
1. 20年前に比べて人口が増加しており、他県からの移住などの影響で40歳代の男女の割合が比較的高い。
 2. 2000年代前半をピークに人口が減少傾向にあり、高齢化の影響で70歳代の男女の割合が比較的高い。
 3. 20年前と比べて人口は横ばいだが、15歳未満の年少人口の割合が近畿地方で最も高くなっている。
 4. 大阪市など近隣都市への人口流出が激しいため、20年前よりも大幅に人口が減少している。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大阪市	大阪市の気温と降水量の推移を見ると、冬はシベリア気団からの北西の季節風が中国山地を越える際に水分を失うため、太平洋側の地域と同様に降水量が極めて少なくなります。一方で、夏は小笠原気団からの湿った空気が四国山地を越えてくるため、梅雨や台風の影響で一定の降水が見られますが、年間を通じれば全国的には雨が少ない部類に入ります。1月の平均気温が氷点下にならない点や、冬に降水が集中しない点が他の都市との判別基準となります。
問2	答え 1 ポートアイランド	神戸市の都市開発では、山地を削った際に出る大量の土砂を効率よく海へ運搬するため、専用のベルトコンベヤが活用されました。これにより、1981年には当時世界最大級の人工島であるポートアイランドが完成し、その後も六甲アイランドの造成へと続きました。これらは単なる埋め立て地ではなく、コンテナターミナルなどの港湾機能に加え、住宅や研究施設、商業施設を備えた「海上都市」として設計されているのが特徴です。
問3	答え 1 琵琶湖を利用した水上交通と、北陸や東海から京都へつながる陸上交通の要所を支配するため。	滋賀県（当時の近江国）は、北陸地方や東海地方から京都へ向かう際に必ず通る交通の要衝でした。琵琶湖は単なる湖ではなく、大量の物資を運ぶ水上ルートとして活用されており、信長はその利便性に注目しました。京都に近いこの地に拠点を置くことで、物資の流通や情報の把握を容易にし、天下統一を有利に進める狙いがありました。
問4	答え 1 琵琶湖と呼ばれ、近畿地方に住む人々の飲料水の供給などを担っている。	滋賀県の中央部に位置する日本最大の湖は琵琶湖です。琵琶湖から流れ出る水は淀川を通じて大阪府や京都府、兵庫県などの広範囲に届けられており、約1,400万人以上の生活を支える「近畿の水がめ」として極めて重要な役割を果たしています。
問5	答え 2 伝統的な建築物と周囲の環境を調和させ、景観の保存を図るため	京都市は古都としての歴史的な価値を維持するために、全国的に見ても非常に厳しい景観条例を制定しています。この条例は、単に古い建物を残すだけでなく、新しく建てられる建物に対しても高さや色の制限（建設規制）を課すことで、歴史的な町並み全体の雰囲気を損なわないようにすることを目的としています。
問6	答え 1 琵琶湖から流出する淀川の水系が、京都・大阪・神戸などの大都市における膨大な人口の生活や産業を支える水源となっているため。	琵琶湖は「近畿の水がめ」とも呼ばれ、そこから流れ出る淀川は、京都、大阪、神戸といった大都市が密集する京阪神大都市圏の飲料水や工業用水を供給する極めて重要な役割を担っています。地形的に見ても、琵琶湖から流れ出る河川がこれらの主要都市へと繋がっており、都市圏の成立と発展は、この豊かな水資源の供給体制によって支えられています。
問7	答え 1 鉄道網や高速道路の整備が進み、大都市圏のベッドタウンとして住宅地の開発が行われたため。	滋賀県や奈良県は京都府や大阪府に隣接しており、JRや私鉄などの鉄道網が非常に発達しています。これにより、歴史的な景観や良好な居住環境を求めて周辺県に居住し、中心都市である京都市や大阪市へ働きに出たり通学したりする「ベッドタウン」としての役割が強まりました。このような都市間のつながりを人口流動のデータから読み取ることが重要です。
問8	答え 1 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している	みかんは温暖な気候を好み、特に成長期に十分な太陽光を浴びることと、根腐れを防ぐために水はけが良いことが栽培の条件となります。和歌山県や愛媛県では、海岸に近い山の斜面を階段状に切り拓いた段々畑にすることで、効率よく日光を当て、余分な水分が自然に流れ落ちるように工夫されています。
問9	答え 1 大阪大都市圏	日本の三大都市圏は、人口規模の大きい順に東京大都市圏、大阪大都市圏、名古屋大都市圏となります。大阪大都市圏は、大阪府を中心に兵庫県、京都府、奈良県などに広がり、京阪神とも呼ばれる地域を含んでいます。設問にある約14.4%という数値や、京都・神戸が含まれるという特徴は大阪大都市圏に該当します。
問10	答え 1 三重県と滋賀県	日本の一般的な地方区分では、三重県と滋賀県はどちらも近畿地方に属しています。地理的な位置関係を見ると、三重県は中部地方の愛知県や岐阜県と隣接しており、滋賀県は中部地方の岐阜県と境界を接しています。このように地方の境界に位置する県は、隣接する他の地方とも密接な関係を持っています。
問11	答え 1 三重県と愛知県は、伊勢湾を挟むとともに、陸上でも境界を接している。	三重県（近畿地方）と愛知県（中部地方）は、伊勢湾の湾奥部で境界を接しています。この隣接関係により、両県は岐阜県とともに中京工業地帯を形成し、強い経済的ネットワークを持っています。長野県や静岡県などは、三重県とは直接境界を接していません。
問12	答え 1 京阪神大都市圏と淀川水系	近畿地方には、京都の「京」、大阪の「阪」、神戸の「神」を合わせた京阪神大都市圏が形成されています。この地域は、滋賀県にある日本最大の湖、琵琶湖から流れ出る淀川の水系を利用することで、生活用水や工業用水を確保し、大規模な人口と産業を維持しています。京浜大都市圏は東京周辺、中京大都市圏は名古屋周辺を指します。
問13	答え 1 20年前に比べて人口が増加しており、他県からの移住などの影響で40歳代の男女の割合が比較的高い。	滋賀県は京阪神のベッドタウンとしての機能を持っており、他県からの流入を含めて1998年から2018年の間に人口増加を実現しました。人口構成においても、子育て世代を含む40歳代の層が膨らんでいるのが特徴です。一方、選択肢にある「2000年代前半をピークに減少」「70歳代の割合が高い」という説明は奈良県の特徴に該当します。